



よい子 つよい子 できる子

新井小学校たより 10月号

令和元年 10月 25日

HPアドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

マラソン大会から思うこと

校長 宮野 正則

マラソン大会のねらいは？

10月4日（金）、新井小学校のグラウンド及び校地周辺の道路において、マラソン大会を実施しました。マラソン大会のねらいは、次の2点です。

- 自己のめあてに向かって、最後までやり抜くことを通して、努力することやがまんすることの大切さを知るとともに、運動する心地よさを味わう。
- 仲間を応援することを通して、互いの健闘を認め合うことのすばらしさを実感する。

練習の中で学ぶことは？

子どもたちは、9月から体育の時間を中心に持久走の練習を重ねてきました。また、9月17日からは、“マラソン週間”として、2限後の15分休みにも音楽を流し、全校でグラウンドを走りました。お互いに声をかけ合ったり、学年を超えて励まし合ったりする姿が見られました。

子どもたちは、“がんばりカード”に走った長さを記録していきました。努力の足跡を可視化（見えるように）することで、走る意欲が継続しました。

体育の時間には、本番と同じコースを走り、タイムを計測し、記録しました。練習を重ねるごとにタイムが向上し、練習の成果や努力の大切さを実感しました。

応援が大きな力に

マラソン大会当日には、たくさんの保護者や地域のみなさんからおいでいただき、沿道から温かな声援を送っていただきました。そうした応援が、子どもたちに元気と勇気を与え、いつも以上の力が沸き上がり、タイムの向上につながりました。

ゴールした後は、疲れているにもかかわらず、学年の仲間を大きな声で「がんばれー」「もう少しでゴールだ！」など、一生懸命に声援を送る姿が見られました。

マラソン（持久走）の楽しさとは？

学校行事の見直し・精選により、マラソン大会をやめる学校もあります。低学年で1500m、中学年で2000m、高学年で2700mを走ることは、とてもつらく、苦しいことです。しかし、走り終わった後の達成感や成成感、他の運動以上のものがあります。それが、マラソン（持久走）の楽しさにつながると考えます。

子どもたちががんばる姿、走り終わった後の健闘を讃え合う姿、やり遂げた表情を見ると、「教育的効果の大きい行事であり、継続しなければ・・・」という思いを強くしました。たくさんのご協力と応援、ありがとうございました。

＜学年の活動紹介＞

チャレンジ 1年生



よろしくね！！「ふわちゃん」「もこくん」

9月に入って、2頭のヒツジを迎えました。ヒツジたちが入場すると、「わぁ！」「かわいいい！」…と歓声を挙げたチャレンジっ子たち。後日、子どもたちから名前を募集して相談し、ヒツジの名前を決めました。赤い首輪をしているめすのヒツジが「ふわ」、青い首輪のおすが「もこ」です。子どもたちによるヒツジの世話も始まり、少しずつ世話の仕方に慣れてきました。

学級全員で仕事の内容を確認し、分担を決めて取り組んでいます。小屋の中の掃除は、フンがたくさんあって大変ですが、ヒツジのために一生懸命掃除をする様子が見られ感心しています。体をなでたり、えさを食べさせたりしてかかわろうとする様子も見られます。はりきって世話をする子どもたちは、とても生き生きしています。

おおぞら 2年生 「万内川砂防公園へ町探検に行きました！」

万内川砂防公園に町探検に行きました。天気が心配されましたが、活動している間には、晴れ間も見られ、時間いっぱい楽しんで活動することができました。生き物を探して観察したり、冷たい川に足を入れ水の流れを肌で感じたり、面白い形の石を見付けたりと、友達と協力しながら、夢中で活動する姿がたくさん見られました。



つばさ 3年生

「大洞原のトマト畑見学」

9月11日(水)に総合学習で、ハートランド妙高に行きました。トマト農家の方の話を聞いて、大洞原のトマトがおいしく育つひみつをたくさん知ることができました。天候にもなんとか恵まれ、またひとつ妙高の自然の豊かさを感じられるよい一日でした。子どもから「おいしかった！」「すごく甘かった！」という声も聞こえ、心に残る貴重な経験となりました。



かがやき 4年生

「みどりの学習～笹ヶ峰 夢見平」



9月13日（金）にみどりの学習の一環として、笹ヶ峰の夢見平周辺へ散策に出かけました。天気の良い日でしたが、森林の中は涼しく、講師の方々に案内してもらいながら、2時間ほど森の中を散策しました。森の中に入る前には、笹ヶ峰ダムがあり、3つの川が合流してできていることを知りました。

森の中に入ると、色々なキノコを見つけたり、シラカンバとダケカンバの見分け方、ブナの木、トチの木、ミズナラの木など色々な木の種類を教えてもらったりしました。実際に木を触ってみたり、たくさん生えている笹を使って笹舟を作ったりと森林のよさを感じることができました。



にじいろ 5年生

「うまいもんまつり 大成功！」



9月28日（土）に開催された「うまいもんまつり」に参加しました。時間のない中の準備は大変でしたが、「たくさん売るぞー！」「私たちが考えたスイーツを食べてもらいたい！」という気持ちで、お米やスイーツの袋へのシール貼り、ポスターやチラシ作り、発表のリハーサルなど、大変意欲的に準備を進めていました。

当日は、春から育て、収穫した「華麗舞」、柴田さんと協力して作った「レモンライスクッキー」と「ココアマフィン」を販売しました。劇やクイズを織り交ぜて発表したり、チラシ、のぼり旗などでPRしたり、お客さん相手に販売をしたりした子どもたち。はじめは緊張していましたが、たくさんのお客さんとかかわる中で、元気よく活動することができました。

たいよう 6年生

「親善陸上大会がんばりました」

9月19日（木）の親善陸上大会では、競技はもちろん、応援でもリーダーとして一生懸命に取り組む姿が見られました。フレンドスクールの友達との再会もあったり、陸上競技を通じて、他校の児童との交流も深めたりしました。今回は6年生だけでなく、新井小学校チームとして一丸となって取り組むことができた経験を若竹フェスティバルにつなげていきました。平日にもかかわらず、保護者の皆様にも多数応援していただきました。ありがとうございました。



大成功！若竹フェスティバル

19日の若竹フェスティバルには、多くの皆様から子どもたちが生き生きと活動する姿をご覧いただきました。お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。



音楽発表会では、各学年それぞれのもち味を存分に発揮し、きれいな音を響かせました。子ども、職員、保護者、そして地域の方が一緒になって音楽を楽しみました。



各学年の絵画作品、クラブや科学研究等の作品、PTA作品は、どの作品も作り手の思いが伝わってくる見応えのあるものでした。多くの人が近くからじっくり鑑賞し続ける姿が見られました。



「若竹キッズ&トライ広場」では、新井中学校 科学部、国立妙高青少年自然の家、わくわくランドあらい、県立歴史博物館、上越教育大学の大学院生、バルーンアート講師、地域の方、PTA 役員の方から活動を指導・支援していただきました。子どもたちは、普段できない活動を伸び伸びと楽しんでいました。